

組織改編について

一般財団法人化学及血清療法研究所

弊所は、信頼性保証体制の改善および医薬品システムの再構築、ガバナンス・コンプライアンス体制の抜本的見直しに向けた是正策の一環として、本年 10 月 31 日付けで組織改編を行いました。

【組織改編の基本方針】

- 内部統制・ガバナンスを強化し、コンプライアンス遵守をより徹底した組織体制とする。
- 本部・部間管理の横串を通し、人事交流のしやすい組織体制とする。

【組織改編の内容】

- 機能本部制の導入
これまでの事業部門制を廃止して、各本部の基盤となる機能の集約化、責任の明確化を目的とし、機能を中心とした機能本部制の導入。
- 新たな委員会等の設置
ガバナンス・コンプライアンス体制の強化を目的とし、アドバイザリーボード、リスクマネジメント委員会、コンプライアンス委員会、監査室等の新設。

アドバイザリーボード	外部有識者からなり、経営方針や経営課題等について、進言・助言を頂き、経営の閉鎖性、独善性、硬直化を防止し、経営の透明性、ガバナンス・コンプライアンス体制の強化を図る。
リスクマネジメント委員会	事業運営の堅実化を目的に、リスクの顕在化防止および適切な危機対応等を図る。
コンプライアンス委員会	コンプライアンスを遵守する企業風土の醸成と定着、並びに社会的信用の向上を図る。
監査室	監事、会計監査人、信頼性監査課等と連携して日常の業務監査を行い、コンプライアンス違反行為の発見、及び同行為への牽制を図る。

- 信頼性保証体制の強化
医薬品メーカーとして、高い品質の製品を確実に供給するため、製品の安全性、有効性、品質を保証する信頼性保証本部（品質保証統括部、信頼性保証推進部、薬事部等）を増員すると同時に、外部から高い見識のある人材を登用し強化した。また、生産本部内に各製造部等を監視するサイト QA（品質保証部）を設置した。

参考：プレスリリース

- ① 10 月 31 日：組織改編について

URL：<http://www.kaketsuken.or.jp/kaketsuken-news/1065.html>

化血研 組織図 (2016年10月31日現在)

